

理事会の新体制

新たな理事を迎え12人体制でスタート

社会医療法人近森会 理事長 近森 正幸

■ 高知の大地が鳴動 ■

何回かに亘ってこれまで「ひろっぱ」 で書き、先月の「時の分水嶺」でも触 れたように、この4月の診療報酬改定 で日本の医療は大きく変わり、地域医 療、とくに人口が減少し病床数の極端 に多い高知県では、大地が鳴動するよ うな大きな変化が起こっている。

衆知を集めて

これまでは医師や看護師、メディカ ルスタッフが働きやすい医療環境を整 え、生き生きと働いてもらえば、病院 の経営、運営は安泰だった。が、4月 の改定を機にこれまで以上に、高度 できめ細やかなマネジメントが必要に なった。これからは理事会で衆知を集

め方針を決定し、その方針に基づいて 現場が考え、質高く効率的な医療を実 践する時代になった。

さらに院長直轄の病院運営改善委員 会として実務者によるワーキンググ ループを設け、コミュニケーションを 深め、セクト主義を廃し、部門間の調 整が必要な場合は具体的な議論を行 い、現実的な対応策を提案する。その 提案は再編成した部科長会で、各診療 部門の長が必ず出席し、具体的な対策 の検討と病院全体の方針を決定、さら に合同運営会議で周知徹底を図ること になった。

理事会の刷新

そうしたことから10月1日付で理 事会の若返りを図り、機能的な理事会

が新たに発足した。具体的には川添曻、 梶原和歌両理事に10月1日付で顧問 に就任していただき、新しく近森正康 消化器内科部長が副理事長に、寺田文 彦管理部長が常務理事に、川井和哉循 環器内科主任部長、入江博之心臓血管 外科部長、岡本充子統括看護部長が理 事に新しく就任していただいた。

今年7月1日に就任した和田恵美子 近森リハビリテーション病院院長はじ め、浜重直久近森病院副院長、北村龍 彦近森病院副院長、明神和弘総合心療 センターセンター長、鄭明守近森オル ソリハビリテーション病院院長、土居 義典学術担当理事を含めて、総勢 12 名の体制で新しい理事会が10月1日 からスタートする。

ちかもり まさゆき



理事長 近森病院院長 近森 正幸



副理事長 消化器内科部長 近森 正康



常務理事 管理部長 寺田 文彦



診療担当理事 近森病院副院長 浜重 直久



システム担当理事 近森病院副院長 北村 龍彦



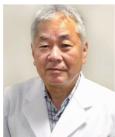
理 事 循環器内科主任部長 川井 和哉



入江 博之



理 事 心臓血管外科部長 近森リハビリテーション病院 総合心療センターセンター長 院長 和田 恵美子



明神 和弘



統括看護部長 岡本 充子



近森オルソリハビリテーション病院 院長鄭明守



学術担当理事 土居 義典

医療今昔物語 ● 麻酔科 4 最終回



麻酔の現状と未来

近森病院麻酔科 部長 楠目 祥雄

「手術したがやき、痛いがは当たり 前よねえ、我慢します」

たまに、こういう言葉をかけて下さ る患者さんがいます。なにかほっとす る一方、申し訳ない気持ちにもなりま す。しかし、いくら頑張っても現状で は手術後の痛みを副作用なく完全に取

10月の歳時記

ピーマンの花

近森病院外来センター 看護師主任 石嶺 里香

7月から10月に 咲くナス科の花、 畑に生息する一 年草。

我が家では旬 の野菜を、母の指 示の元、妹と共に育て

ています。ピーマンは比較的育てや すく、食卓の彩りも助けてくれます。

最近はスーパーに行くとなんでも 並んでいますが、自分たちで育てた 野菜が花をつけ、実になった物は、 苦手な野菜でも美味しく感じられま いしみね りか す。



り去ることは出来ません。

第1回では「麻酔のリスクは万が 一」と申しましたが、これは麻酔その もののリスクであって、重症の全身合 併症を持つ患者さんが大手術を受けた なら、やはりその手術リスクはもっと ずっと大きくなります。

手術自体の体への負担(手術侵襲と 呼びます) とそれに対する自身の有害 な生体反応(過剰なホルモン分泌など) によって、手術患者さんは大きなダ メージ(臓器障害など)を受けてしま いますが、麻酔の技術でこれを食い止 めることはまだまだ不可能です。なま じ麻酔の技術が向上したものだから、 より重篤な患者さんに、より侵襲の大 きな手術をするようになってきている という側面もあります。

このように、麻酔の技術はまだまだ 万全ではありません。これからもずっ と麻酔薬や関連機器の開発は続くで しょう。例えば将来、痛みや手術侵襲、 そして生体反応、或いは各臓器の障害 の度合いなどを直接的・客観的・連続 的に測定する便利なモニターとかが開 発され、それらを土台に、副作用の全 くない麻酔薬や有害反応を抑え手術侵 襲を帳消しにしてくれるようなお薬が 発明されるかも知れません。

そうなれば、手術も危険がなくなり、 術後もこれまでよりはるかに快適なも のになるでしょう。ただ、それはまだ かなり遠い先のことのように思われま す。それに、もしそんなことにでもなっ たら、われわれ麻酔科医も商売あがっ たりですが……。

くすめ よしお

●●● 近森看護学校通信 11

第2回 オープンスクール開催報告

8月28日(日)に、今年度2回目 のオープンスクールを開催し、参加者 は保護者を含め総勢 91 名と盛況でし

各フロアでは1年生と2年生の学生 ボランティアに協力してもらい、案内 をはじめ参加者の質問などにも主体的 に対応する姿が見られました。

領域別の実習室が 整備されたので、赤 ちゃんの抱っこやお むつ交換、高齢者体 験、包帯交換、実際 に聴診器を使用して モデル人形の呼吸音 や心音などを聴くな ど、看護技術体験の ブースが充実し、多 くの体験ができまし

た。また、本校の特徴でもあるクリティ カルケア看護実習室では、心電図モニ ターや人工呼吸器などを稼働させ、実 際の集中治療室を再現し見学してもら うことができました。

次回、今年最後となるオープンス クールは9月25日(日)に開催予定 です。 (島本恵)



看護部 キラリと光る看護

多職種連携で

より良い医療サービスを目指して

近森病院北館 4 階病棟 看護師長 青木 千利



近森病院北館 4 階は病床数 34 床の 比較的病状の安定した内科疾患の患者 さんが多い病棟です。また心臓カテー テル検査目的や、大腸ポリープ切除目

ハッスル研修医

教科書涌りでない現場



初期研修医 金子 昌憲

32歳「独身」です。消化器内科、 整形外科、麻酔科をまわり検査部で 研修しています。近森病院で研修医 となりあっという間に7カ月が経過 しました。夏も終わり初めての秋を 迎え、日々精進しております。

はじめのころは、なにもできなく やっていけるのかと不安でしたが、 先生方、コメディカルスタッフの 方々や先輩方、同期のみんなの支え もあり少しずつですが成長してきた のかなと感じています。

当初は、教科書通りではない実践 の医療現場に、尻込みしたのを覚え ています。現場は、想像を超える緊 張感を持ちつつも、患者さん一人一 人と真摯に向き合う先生方の背中は 大きく、いつか自分も先生方のよう になりたいと思いました。

まだまだ、若輩者ではございます が、これからも多くの諸先輩方とコ ミュニケーションを取り、たくさん の技術を吸収したいと思います。金 子昌憲を何卒、よろしくお願いしま す。

かねこ まさのり

的の短期入院もあります。

病棟には、薬剤師、管理栄 養士、医療相談員、歯科衛生士、 医療事務員が配属され、理学 療法や作業療法、言語療法の セラピストの皆さんも、常に 病棟に姿があり、とても恵ま れた職場環境にあります。

病棟の1日は、管理申送、 夜勤看護師からの申送でスタートしま すが、引き続き多職種が集合し、前日 に当病棟に入院、或は他病棟から転棟 された患者さんの情報共有を行いま す。当日の日勤リーダー看護師が、入 院に至った状況から現在までの状態を 説明し、続いて多職種間でのディス カッションで療養計画を立案していま す。その他の患者さんの新しい情報共 有もこの場で行うことから、食事の問 題や服薬指導、退院後の方向性など細 やかな気づきも挙がってきます。

ひとりの患者さんに専門職がそれぞ れの分野で関わることから、トータル



切さを常に感じています。食事、睡眠、 排泄する24時間には痛みや発熱、血 圧や呼吸の変化、メンタル面のサポー トもあり、常に患者さんのそばにい る看護師の役割はとても重くて重要で

多職種間の連携で繋ぐベッドサイ ドケアは、病棟の誇りだと感じていま す。なによりも、明るく元気な看護ス タッフと、いつでもスッと声のかけや すい多職種の皆さんに心から感謝して います。

あおき ちとし

辰巳芳子さんのスープサービスへの関わりと 最新 DVD の紹介

命を支えるスープサービス 責任者 近森病院 副院長 北村 龍彦

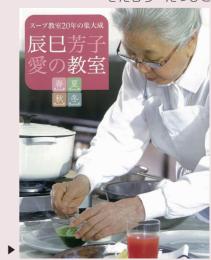
サービスを始めて10年になりました。 辰巳さんもご高齢になられ、体力的に 少し弱られましたが、情熱と愛情「あ なたのために」には衰えは見えません。

数年待ちのスープ教室に参加しなく ても、四季を通じて皆さんに親しんで もらえる願いを込めて、スープ作成の 秘伝のコツの紹介 DVD が完成し、辰 巳さんから届きました。

同封されたお手紙には、医療はむろ ん、介護・養護にもスープはかかせぬ ものであり、関係者の皆様にも本と合 わせてみていただき、作ってもらいた

DVD「辰巳芳子 愛の教室」▶

辰巳芳子さんの命を支えるスープいとのことです。ぜひお試し下さい。 きたむら たつひこ



□□ 乞!熱烈応援 □□□

初心不可忘



近森病院心臓血管外科 部長 手嶋 英樹

18年目。最近は鮎釣りのおかげか、少しやせ?て見えます。道を模索してたどり着いた高知も、早6年目となりました。

博多弁で「すいましぇーん」は変わりませんが、玄人好みの仕事ができれば、部長らしく見える?。とはいえ、中庸の道の中、慌てないが早く確実を一番に頑張ります。皆様の叱咤激励を心待ちにしています。

てしま ひでき

日々成長を



近森リハビリテーション病院 4階病棟東 看護師主任 江元 真美

近森の医療の質の高さやチーム医療の良さを実感しながら毎日勤務をしています。

これからは、スタッフの意見や思い に寄り添いながら、より働きやすい職 場づくりを目指し、患者さんやご家族 の考えを尊重し退院支援につなげられ るようにしたいです。

スタッフとともに自分自身も日々成 長していけたら良いと思っています。

えもと まみ

近森病院 「地域医療連携ガイド」 が完成しました。

医師の専門分野や認定資格、趣味など が掲載されています。顔の見える連携の の資料として、今後は毎年更新予定です。



リレー エッセイ

高知の夏に参加して

近森リハビリテーション病院 作業療法士 西野 史佳

近森に就職を機に、地元愛媛県から高知県に来て、3年目を迎えました。毎年、患者さんやスタッフと会話をする中で、高知の夏といえばやはり「よさこい」のワードが多くの方から挙がります。私は、これまでの「夏の楽しみ」といえば、海やバーベキューに高校野球…と、よさこいとは殆ど縁がなく、これまで一度も見たことがありませんでした。

しかし、高知に来たからには「ぜひとも本場のよさこいを見ないと!」と思い、今年は同じ部署の後輩が踊るのもありますが、今年度でちかもりよさこいチームが最終演舞との事で、家族を呼んでおっかけをしました。「どこいこサービス」ってとっても便利ですね。

おっかけの結果は期待以上に楽しく、鳴子を持って優雅に踊る踊り子 さんや、豪華な地方車を見て、とて もわくわくした気持ちになりました。 たくさんの練習を重ねた踊り子さん やスタッフさんが、笑顔でアーケー ドを舞う姿に、家族一同大満足でし た。ちなみに、よさこい中は踊りを

AT THE STATE OF TH

▼おっかけをして撮れた写真



見ながら写真も撮っていたのですが、帰宅後確認してみると全部で300枚程写真を撮っていました。今回のよさこいを見て、いつかは自分も参加出来るといいなと思いました。

新しい土地・新しい環境で、その土地でしか味わえない楽しみがあると、日々感じる事は多いです。今回の事をきっかけに、まだまだ高知には知らない事があるなと感じました。これからも、たくさんの高知の「楽しい」を探していきたいと思います。

にしの ふみか

2016年9月12日

心房細動のカテーテルアブレーション クリニカルパス大会

▼後列右から3番目が西井パス委員長 前列中央が筆者

近森病院循環器内科

部長 深谷 眞彦

心房細動は今や不整脈外来で最も多 い不整脈です。60歳を越えると急に 多くなり、65歳以上の(特に男性の) 10人に1人とも報告されており(約 300万人)、今や国民病の一つと指摘 されています。

長期持続による心臓機能低下や心不

全も問題ですが、血栓塞栓症 の原因となることから特に脳 梗塞の原因として注目されて います。

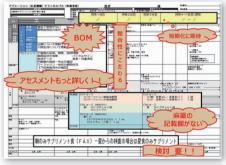
心房細動のカテーテルアブレーショ ンは、その根治を目的とする治療です。 X線透視ができるカテ室で、3次元画

> 像システムなど最新の機器 を駆使して、左房内の肺静 脈開口部周囲に通電し、心 房細動の発生源を電気的に 隔離するのが治療の基本で す。医師、看護師、技師な ど多くの専門職種のチーム で行う治療で、治療現場と



病棟との連携は、前後の患者管理など で重要です。

当院では2007年からこの治療を 行ってきましたが、治療法や機器の進





歩と相まり 2014 年頃から急速に患者 数が増加してきました。これに伴い今 のパスに新たに追加や改正すべき点が 増えてきたので、各専門職種が集まっ てじっくりと検討することとなり、今 回のパス大会となりました。院内外か ら 150 名を越える参加があり、活発

で得るところの多い会となりました。

ふかたに まさひこ

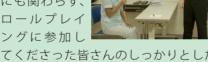
PS通信

対応スキル向上の必要性を再認識

看護補助者を対象に第1回目:8月 10日、第2回目:8月25日に「電話応 対」や「お見舞いの方の応対」につい て研修があり、第1回目52人、第2回 目71人の参加がありました。

研修内容は、前半は看護部より相手 に何か伝える際は、プラスアルファで 相手を思いやる言葉がけをすることが コミュニケーションに効果的であるこ となど、スタッフ同士の日々の業務に も活かせる内容のお話がありました。 後半は PS サポーター作成の動画やロー ルプレイングなどを交えながら、電話 応対や見舞い客案内の具体的なやりと

りについて研 修を行いまし た。突然の指名 にも関わらず、 ロールプレイ



てくださった皆さんのしっかりとした 対応に感動しました。

この研修を通じて、PS サポーターも 応対スキル向上の必要性を再認識する と共に、今後も近森会グループをご利 用いただく全ての方々に快適にお過ご しいただける病院作りの一端を担うこ とができればと思います。

お弁当拝見 46

休憩時間の楽しみ

近森病院本館 7 階 A 病棟 看護師 矢野 ますみ

昼休憩の楽しみといえばお弁当と おやつです。食べることが大好きな 私たちは、休憩ともなるとお弁当と お菓子をあっという間に平らげてし まいます。

7A病棟はおばちゃんナースがいっ

ぱいで、お弁当持参率が高いです。 昨日の残り物のおかずやベランダ菜 園で作ったミニトマト等を利用して 節約にも心がけています。栄養のバ ランスと見た目(茶びったお弁当に ならない) も重視しながらお弁当作



りを楽しむことと、休憩時間にモリ モリ食べることでリフレッシュして これからも頑張っていきます。

やの ますみ

私の趣味

ピアノやヨガ、スキューバ

近森病院 ICU 看護師 正岡 真衣







私はピアノ(週1日)とヨガ(週 1~3) の習い事をしています。

ピアノは2歳から習い始め、一度 も辞めることなくレッスンに通い続 けています。高校は音楽科(ピアノ 専攻)を卒業し、1日7時間の練習 に励んでいたこともありました。ど んなに練習をしても、舞台での演奏 は一度しかなく、緊張とプレッシャー で押し潰されそうになりますが、練 習の成果は裏切らないと思っていま す。努力や忍耐強さはピアノから得 ることができたと感じています。

ヨガは1年半前から健康と体力向 上のために通い始めました。基礎代 謝が上がり、柔軟性や骨盤の歪み改 善など、身体の変化を感じるように なりました。また、ヨガのマットの 上では他者と比較せずに自分自身と 向き合えることにより、心の安定も 得られています。

そして、今年はスキューバダイビ ングのライセンスを取得でき、新た な趣味が増えました。ブルーの無重 力空間の中で海の生物を鑑賞し、仲 間と共有できる楽しさを知りました。 来年はライセンスのステップアップ と水中写真を目標とし、夏はダイビ ング、冬はスノーボードと四季折々 の趣味を充実させていきたいと思い まさおか まい ます。

ザ・RINSHO 管理部 3 施設用度課

「施設管理」と 「機器・物品管理」の役割

診療支援部 施設用度課

課長 楠瀬 達也



施設用度課はその名の通り、「施設 管理」と「物品管理」の二つの役割を 担っています。

「施設管理」では、法人全体の施設 や設備の保守・維持管理、警備や防火 管理、駐車場や売店等の管理を行って おります。患者さんやお見舞に来られ たご家族などが快適で安全に過ごせる よう、また、医療スタッフが効率的に 業務を行えるような環境作りを心掛け ております。また、トラブルがあった 場合は、365日24時間、昼夜を問わ ず迅速に対応しています。

一方「機器・物品管理」では、MRI やCT、超音波検査装置等の高額医療 機器や、診療材料等の診療現場に直接 関係するものから、一般の事務用品に いたるまで、病院内で使用するさまざ まな物品の購入、および保守契約を 行っています。

より良い物品を如何に安価に購入 し、コストダウンを図るかをモットー に、「コストセンター」から「プロフィッ

トセンター」を目指しています。

そのためにも医療スタッフと同じ知 識を持ち、さまざまな提案が出来るよ う、個々のスキルアップに努めてまい ります。

くすのせ たつや



▲医療器具メーカーとの商談中

献血キャンペーン

ありがとうございました。

9月14日 (水) 400ml 限定献血結果

受付された方 82名/献血できた方 61名 ※次回は2月開催予定です。

ワイン講座 ● 47

ぶどう品種を知り、個性を探る 白ぶどう その24

スペイン篇 ペドロ・ヒメネス

ペドロ・ヒメネスは、葡萄の品種の 名前です。その名は16世紀、アンダ ルシアに広めたドイツ兵の名に由来し ています。主に辛口タイプとのブレン ドと、そのぶどうの名前がシェリーの タイプ名になったものに使用されてい ます。辛口シェリーの場合、収穫した ぶどうはすぐに搾られ、ワインが造ら れます。

では、甘口シェリーの場合、ぶどう はまず天日干しされ、レーズン状に なったぶどうを搾って、甘い果汁を得 るのです。ペドロ・ヒメネス種単独で 生産されるものは凝縮された甘さと濃 い色合いが特徴で、飲む干し葡萄のよ うな感じ、また、黒蜜のような風味で

ペドロ・ヒメネス/生産者:ルスタウ社/スペイン アンダルシア地方 ● ビロードのように柔らかな舌触 りの甘口シェリー 長期熟成によりほとんど黒に近 い色合いで、繊細でありながらとろりと凝縮したま ろやかな味わい。それほど甘いので、食中には適し ていませんが食後の至福の一杯となります。

もあります。

色合いはコーヒーやエス プレッソに近く、甘みと酸 味のバランスは絶妙に取れ ています。葡萄を天日干し にし水分を飛ばし凝縮する 作業と熟成により、この様 にエッセンスが凝縮される ことには驚きます。

楽しみ方は、最高の食後 酒のひとつで、ブルーチー ズやドライフルーツとの相 性は別格です。また、バニ

ラアイスに掛けて大人のデザートとし ても楽しめます。

鬼田知明(有限会社鬼田酒店代表)



第2回一看護のこころをつなぐ一CHNS 誓いのセレモニー

近森病院附属看護学校 専任教員 黒岩 悦子

第2回-看護のこころをつなぐ-CHNS 誓いのセレモニーが近森病院附 属看護学校で開催されました。セレモ ニーは 10 月から始まる基礎看護実習 前に、学牛の目指す看護や目標を宣誓 することで学習意欲を高め、看護師に なるという自覚のもと臨地実習に取り 組んでいくことを目的としています。

学生は自分たちのこれからの目標と する看護の「こころ」を多くの人々に 伝え先輩看護師や多くの人々と「つな がる」ことの重要性を表現したいと、 自由な発想で入学後間もない頃から準 備に取り組んできました。当日を迎え るまで学生自身で考え、仲間の気持ち

を大切にしながら一つのものを作り上 げてきました。企画から実行までを通 して看護師として必要な主体的に学ぶ 姿勢や人とコミュニケーションをとる ことの大切さを学ぶことができまし た。セレモニーで学生達が誓い決意し たことは、10月からの基礎看護実習 での学ぶ姿勢につながると思いますの で、臨床の皆様ご指導のほどよろしく お願いします。

今回セレモニー開催に当たり、近森 会グループの職員の皆様には準備の段 階からご協力頂き、またお忙しい中ご 臨席頂きありがとうございました。

くろいわ えつこ



近森病院附属看護学校 1年生 市川 沙良

今回で2回目となるCHNS誓いの セレモニーを開催するにあたり、私た ち1年生は入学して早々から計画を立 て、試行錯誤を重ねてきました。前回 のセレモニーと大きく違うのは、改築 移転した新校舎でセレモニーを行うと いう点です。2年牛に習い自分達の思 いをどう伝えればいいのか、宣誓する 言葉や場所など、何度も話し合いを重 ね、練習を繰り返してきました。前例 が一例しかないこと、式典の場所が変 わったことなど分からない事や慣れな いことばかりで戸惑ったり不安に思う ことも多々ありましたが、先生方や関 係部署の方々、多くの方にご指導、ご 協力を頂きセレモニーを迎えることが 出来ました。

セレモニーを終え私たち1年生が多 くの方に支えられていることを改めて 実感しました。臨床で活躍できる看護 師になり、患者さんやそのご家族を含 むあらゆる人の支えになれるよう日々 精進してまいりたいと思います。あり がとうございました。

いちかわ さら





患者さんアンケートからの要望にお応えして、水槽にお魚紹介が添えられました。 今月よりシリーズとして本館受付前の水槽に生きる仲間たちを紹介していきます。



ヤマトヌマエビとよく似たエビにミナミヌマエビがある。前者は 4cm ほど、後者は 2、 3cmと小さい。その違いは大きさだけで、共に水槽内のコケを食べてくれる掃除屋さんだ。 水槽が大きければ食欲旺盛なヤマトの掃除能力がものをいうと

いうわけだ。コケだけでなく死んだ熱帯魚などもついばむ。食 欲旺盛だけあってミナミの1年にくらベヤマトは2、3年と2 倍以上長寿だ。

こんなに書いてしまうと健啖家だけのように聞こえるが、水 質や温度に敏感で、熱帯魚より先にまずこのエビたちが死んで しまうというデリケートな一面も。

ニューフェイス ①所属②出身地 ③最終出身校 ④家族や趣味のこと、自己アピールなど

◯ おめでとう

人の動き 敬称略

図書室便り 2016年8月受入分

- WHO classification of tumours of the urinary system and male genital organs
 Holger Moch
- ●DVD ブック人工呼吸器 疑問・困った 解決!/雀地洋平(他著)

《別冊·増刊号》

- ●別冊・医学のあゆみ ストレスシグナル と疾患細胞恒常性維持機構の破綻と病 態/一條秀憲(編)
- BRAIN NURSING 2016 年夏季増刊 オールカラー脳神経領域で必須のくすりナース版トリセツ/橋本洋一郎(監)
- ●臨床心理学 増刊第8号やさしいみんなのアディクション/松本俊彦(編)

2016年8月の診療数 システム管理室

うち全身麻酔件数

近森会グループ

外来患者数 19,559 人 新入院患者数 1,117人 退院患者数 1,050 人 近森病院 (急性期) 平均在院日数 14.14 日 地域医療支援病院紹介率 67.52 % 地域医療支援病院逆紹介率 135.59 % 救急車搬入件数 650件 うち入院件数 352件 手術件数 452件 329件 うち手術室実施

● 2016 年 8 月 県外出張件数 ● 件数 50 件 延べ人数 77 人

199件

編集室通信

一年ほど前から弓道教室に通い始めました。以前よりなんとなく憧れのようなものがあり、たまたま見かけた体験教室に申し込んだのが始まりでした。今はちょっとだけ弓が引けるようになりましたが、中てるのは本当に難しいですが楽しいですよ。学びの秋皆さんも何か始めてみてはどうですか?

人物ルポ 313 ●近森病院 薬剤部 薬剤師(集中病棟常駐)高橋佐和さん

ただ、ひたすら…。ゼロ歳以来今日まで



ハワイの大会、自由形 50m で大会新記録

JSS スイミングスクールの 2 年に一度開かれる海外交流試合のハワイ大会において、この 5 月に 50m 自由形(年齢別)で大会新記録、優勝し、しかも優秀選手賞まで獲得した。ゼロ歳から高校 3 年までずっと続けた水泳で高校総体にも国体にも出場した経験もある。

この輝かしい戦績を持つ新卒4年目の彼女に筒井薬剤部長は「前へ前へと主張を通すわけではないが、物事を着実に進める堅実タイプ」だと、厚い信頼を寄せている。確かに、これまでの運動実績や頑張りぬく根性を、ひけらかすようなタイプではないが、「水泳ではあれだけやってきたので、ちょっとやそっとじゃツライとは思わないという気はしています」と、控えめながら、続けてきた努力への自負をのぞかせる。

きっかけは「ゼンソク持ち」の克服

そもそもの水泳との出会い。それは、生まれて間もない佐和さんが産科医から「ゼンソク持ち」だと言われ、3歳上の姉とともに母親が、三人一緒にスイミングスクールに通うことを決めたためだった。母親のこの素直さや、自分もついでにスイミングを始めるというノリの良さ、子育てへの熱心さが、のちの佐和さんをチャレンジ精神旺盛な頑張り屋へ繋げたのかも知れない。

「やりたいことをやれるのがいちばん!」とバックアップを惜しまない父親に、子育てを頑張る専業主婦の母親、一族がけっこう近くに住んでいて皆が仲良し。こんな家庭環境も、真ん中の佐和さんだけでなく三姉妹が皆揃って、資格に挑戦し、生涯続けられる職業を選び取らせる要因にもなったのだろう。

母のおかげ、相変わらずの挑戦者

佐和さんの中学高校時代、早朝練習で朝5時半から2時間、部活でも泳ぎ、スイミングスクールへも通い3時間の練習。しかも手作りの複数お弁当に送り迎えつきでずっと支えてくれた家族がいる。「母のおかげ、母がよく付き合ってくれました」と、佐和さんは母親への感謝を気恥ずかしそうでもなく、サラッと口にする。その母は、むろんまだ還暦には間があるが、相変わらずスイミングスクールに通い続け、記録更新を目指す挑戦者でもある。

オリンピック銀メダリストからの刺激

JSS スイミングスクールでは、2000年シドニー五輪銀メダリストの中村真衣選手との出会いもあった。記録に挑戦し続ける楽しさや厳しさをイメージ



▲振り返ればいつも「水泳」があった

し、自分の将来に対する刺激も受けた ようだが、勉強の科目に対する好き嫌 いや堅実な暮らしなど様々勘案し、悩 むなかで結局は医療に携わり、しかも 薬に関する仕事を選ぶことに決めた。

高校時代、ドーピング検査の授業を 受けたとき、薬のもつ思いがけない 効能を知り、もっと色々知りたいと興 味を持ったことが薬剤師を志す直接の きっかけになった。

大きなことでなくていいから一日一善

薬剤師として集中病棟に常駐する毎日を送っている。諸先輩方に廊下で会うたび、「しっかりやっている?」「頑



▲調剤室でのひとこま

張っている?」と声をかけられ、見守られているという安心感が持てる。伸び伸び業務に関われるという仲間への信頼感が、与えられた仕事への自信や誇りにも繋がっている。

大きなことでなくてもいいから患者 さんのために「一日一善を心がけよう」 という部署の直近の目標も、仕事の励 みになっている。

入院患者さんの薬が、複数の病院に関わることでダブって処方されているのに気づけたら嬉しいし、それが仕事の達成感にも繋がっている。

仲間に恵まれる安心感を感じつつ、 仕事での充実感を味わえる環境は願っ てもない境遇といえる。「いまいちば んいいときかも知れません」。で、こ んな恵まれた毎日だから、「体力気力 が続く限り、このペースを大事にした いと思っています」というのも、すご く納得!

近森病院総合心療センター

本院統合3年の歩みと課題について

近森病院総合心療センター センター長 明神 和弘





▶デイケア パティオ



▶訪問看護

ちかもり

平成25年9月末に第二分院を廃止 し、近森病院に統合して10月で3年 が経過します。その間、2回の診療報 酬の改定を経た総合心療センターの歩 みと今後の課題について報告します。

病棟機能の変化

急性期病床機能に特化したことによ り、平均在院日数は統合前の平成 24 年の 98.6 日から、平成 27 年度は 55.5 日へと大幅に短縮されました。これは 3階病棟(44床)の閉鎖により、少 なくなったベットを有効に活用するた め、入院を長期化させないよう多職種 による退院調整チームを作り、チーム 医療で入院期間の短縮化に取り組んだ 結果です。

平成26年4月の診療報酬改定で「精 神科医師配置加算」の算定が始まりま したが、病床を削減したことにより医 師を一般病院同様(16対1)に病棟 に配置できるようになったことで、更 に病棟機能の強化とともに経営的にも 大きく寄与しました。平成27年度急 性期治療病棟の急性期率は71.3%、3 カ月以内患家退院率82%でした。

精神障害者の身体合併症への対応

平成26年4月から精神科リエゾン の取り組みを始めていましたが、今年 4月からは精神科リエゾンチームとし

ての活動を始めました。精神科医・精 神科認定看護師・精神保健福祉士・作 業療法士がチームとなって一般科の医 師や病棟看護師と連携して救命救急セ ンターや一般科の病棟をラウンドし、 せん妄や不穏な状態の患者さんや精神 科疾患の既往歴のある患者さんの精神 状態を把握し、精神科専門医療が必要 であるかを早期発見、精神科専門医療 を提供して症状の緩和や早期退院の推 進を目的に活動しています。4月から 7月までの実績は延べ106件でした。 また、一般科からの精神科病棟転科件 数も24年度23件から27年度は39 件と増加し精神障害者の身体合併症の 治療連携がうまく進んで来ています。

自殺企図患者への対応

県内の自殺者数は全国的にも高く、 平成23年には全国第8位で中でもう つ病の自殺死亡率が全国と比較しても 高くなっています。現在、精神科リエ ゾンチームと連携しERを受診する自 殺企図若しくは自傷行為の疑われる患 者に対し精神科認定看護師が訪問し精 神状態の把握と精神科専門医療の必要 性について助言しています。28年4 月の診療報酬改定で「救急患者精神科 継続支援料」が設けられましたが、退 院後も継続支援が可能となるように体 制を充実させる予定です。



就労支援と在宅支援

当センターのもう一つの目標である 精神障害者の就労支援と在宅支援につ いて、うつ病の復職・再就職専門のデ イケア「パティオ」の27年度復職率 は73%と着々と実績を上げて来てい ます。精神一般デイケアの「メンタル」 も就労率 28.3%と就労を目的にした通 所者が増加し「より自立した生活への 移行を促すデイケア」へと変化して来 ました。

また、精神障害者専門の訪問看護ス テーション「ラポールちかもり」も 25年度3253件から27年度3422件 と増加しております。総合心療セン ターの理念である精神障害者の方たち が「社会の中でこころ豊かに前向きに 生きていける」ように今後も支援して いきたいと考えています。

これからの課題

これからも旧第二分院で培った精神 障害者の急性期から在宅までのトータ ルな支援体制を維持しつつ、急性期近 森病院に附属した精神科の役割として 求められている救急救命センターと連 携した精神障害者の身体合併症、自殺 企図など身体疾患にもいち早く対応で きる体制の構築を進めて行きたいと考 みょうじん かずひろ えています。